

建築物エネルギー消費性能基準等における一次エネルギー消費量算定方法の変更について

平成 28 年 4 月 1 日

第四章「暖冷房設備」第八節「ルームエアコンディショナー付温水床暖房」の一部を下記のように変更します。

変更前 Ver.02（住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム Ver.01.15）	変更後 Ver.03（エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版） Ver.2.0）
<p>第四章 暖冷房設備 (略)</p> <p>3. 用語の定義 <u>(略) (第 3 節全文)</u></p> <p>4. 記号及び単位 4.1 記号 <u>この計算で用いる記号及び単位は表 4.1.1 による。</u> 表 4.1.1 記号及び単位 (表 4.1.1 省略)</p> <p>4.2 添え字</p>	<p>第四章 暖冷房設備 (略)</p> <p>3. 用語の定義 <u>第一章の定義を適用する。</u></p> <p>4. 記号及び単位 4.1 記号 <u>本計算で用いる記号及び単位は表 1 による。</u> 表 1 記号及び単位 (表 1 省略)</p> <p>4.2 添え字</p>

この計算で用いる添え字は表 4.1.2 による。

表 4.1.2 添え字

(表 4.1.2 省略)

(以下、表番号の修正については省略する)

(略)

7.7 行き温水温度

日付 d 時刻 t における行き温水温度 $\theta_{SW,d,t}$ は 36°C とする

(略)

付録 A. R410A におけるヒートポンプサイクルの理論効率の計算方法

本付録は、R410A 冷媒において、ヒートポンプサイクルの蒸発温度 $T_{ref, evp}$ 、凝縮温度 $T_{ref, cnd}$ 、過冷却度 T_{SC} 及び過熱度 T_{SH} から、ヒートポンプサイクルの理論暖房効率 $e_{ref, H, th}$ を求める方法について示すものである。

A.1 本付録で用いる記号及び添字

(追加)

本付録で用いる記号を表 A.1 に、添字を表 A.2 に示す。

表 A.1 記号

(表 A.1 省略)

(追加)

表 A.2 添字

(表 A.2 省略)

(以下、略)

本計算で用いる添え字は表 2 による。

表 2 添え字

(表 2 省略)

(以下、表番号の修正については省略する)

(略)

7.7 行き温水温度

日付 d 時刻 t における行き温水温度 $\theta_{SW,d,t}$ は 36°C とする。

(略)

付録 A R410A におけるヒートポンプサイクルの理論効率の計算方法

本付録は、R410A 冷媒において、ヒートポンプサイクルの蒸発温度 $T_{ref, evp}$ 、凝縮温度 $T_{ref, cnd}$ 、過冷却度 T_{SC} 及び過熱度 T_{SH} から、ヒートポンプサイクルの理論暖房効率 $e_{ref, H, th}$ を求める方法について示すものである。

A.1 記号及び単位

A.1.1 記号

本計算で用いる記号及び単位は表 A.1 による。

表 A.1 記号

(表 A.1 省略)

A.1.2 添え字

本計算で用いる添え字は表 A.2 による。

表 A.2 添え字

(表 A.2 省略)

(以下、略)